

料金後納  
郵便

**BANDO** Breakthroughs for the future

## 株主の皆様へ **バンドー化学株式会社**

平成27年3月期 第3四半期（連結）

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部  
事務取扱場所 大阪市中央区伏見町3丁目6番3号  
☎0120-094-777（通話料無料）

返送先 〒540-8694 大阪東郵便局私書箱第455号  
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部

まずこちらを

開く

濡れている場合は乾かしてから  
はがしてください

### ■ 配当状況

	1株当たり配当金（円）					配当総額 （年間） （百万円）	配当性向 （連結） （%）	純資産 配当率 （連結） （%）
	第1 四半期末	中間期末	第3 四半期末	期末	年間			
2015年3月	-	5.00	-	5.00 （予想）	10.00 （予想）			
2014年3月	-	5.00	-	5.00	10.00	941	22.0	2.1
2013年3月	-	4.00	-	4.00	8.00	753	30.2	1.9

### ■ 会社概要

社名 バンドー化学株式会社  
Bando Chemical Industries, Ltd.  
創業 1906年（明治39年）4月14日  
設立 1937年（昭和12年）1月7日  
本社事業所 神戸市中央区港島南町4丁目6番6号  
TEL (078) 304-2923  
ホームページアドレス <http://www.bando.co.jp>

### ■ 事業所

本店（本社事業所）・R&Dセンター（神戸市）  
東京支店、名古屋支店  
足利工場、和歌山工場・運動技術研究所  
南海工場（大阪府泉南市）、加古川工場

**BANDO**

<http://www.bando.co.jp>

### ■ 株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで  
定時株主総会 毎年6月  
期末配当金受領株主確定日 毎年3月31日  
中間配当金受領株主確定日 毎年9月30日  
株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社  
特別口座の口座管理機関  
同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部  
〒541-8502 大阪市中央区伏見町3丁目6番3号  
TEL（通話料無料）0120-094-777  
公告掲載新聞 日本経済新聞・神戸新聞  
上場取引所 東京（第1部）

〈ご注意〉

- 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

本データの記載内容は、平成27年3月期第3四半期決算短信に基づき作成しております。なお、その後に公表される可能性がある訂正情報や業績予想の修正情報については、本データの記載内容には反映されません。

バンドーグループは  
環境にやさしい事業を  
推進しています



# 株主の皆様へ

2015年2月  
バンドー化学株式会社

平成27年3月期第3四半期（連結）の概況をお届けいたします。  
当第3四半期連結累計期間の世界経済は、米国では個人消費が増加するなど堅調に推移し、欧州においては持ち直しの兆しがみられました。アセアン諸国では総じて減速感がみられ、中国においては経済成長のペースが鈍化したしました。日本経済につきましては、消費税率引き上げにより個人消費の鈍化がみられたものの、金融政策により円安・株価上昇が進み、緩やかな回復基調で推移いたしました。

こうした中で、当社グループを取り巻く経営環境は、主要な市場である自動車分野において、米国需要は底堅く推移したものの、タイでは自動車生産台数の回復が遅れました。また、国内市場でのベルト非装着車種の増加に伴う補機駆動用ベルトやシステム製品の需要減少などの影響がありました。また、設備投資需要は引き続き堅調に推移いたしました。また、建築分野では消費増税の反動減が長引く状況で推移いたしました。

このような状況のなか、当社グループは、2013年度から2022年度までの中長期経営計画“Breakthroughs for the future”（未来への躍進）の第1ステージの2年目として、中国やアジアで生産能力の増強や積極的な営業活動の展開に鋭意注力いたしました。また、省エネ大賞を受賞した平ベルト駆動システム（HFDシステム）の販売体制強化や軽搬送用ベルトのリニューアルを行ったほか、新たな産学官連携に取り組むなど、グローバル市場戦略の強化と新製品・新事業の開発に注力いたしました。

これらの結果、当社グループの第3四半期（連結）の業績は、右記のとおり、売上高は前年同期に比べて微増となったものの、利益については、グローバルな生産体制増強のための人員増や国内における退職給付債務に係る数理計算上の差異の増加などにより人件費が増加したことなどにより減益となりました。国内自動車市場のベルト販売の減少、タイの自動車生産台数の回復の遅れに伴うベルト需要減の長期化に加え、建築分野における消費増税の反動の長期化に伴い建築資材用フィルムも販売減となっております。また、グローバル生産体制増強のための先行人員増による人件費増などで販管費も増加しており、それらを総合的に検討いたしました結果、通期の業績予想が前回公表した予想を下回る見込みであるため、平成27年3月期の通期業績予想の修正を行うことにいたしました。

なお、配当金につきましては、収益状況を配慮しつつ、安定した利益配当を行う方針のもと、前年同期、1株当たり年間10円（うち中間配当金として5円は実施済）を予定しております。

株主の皆様におかれましては、引き続きご指導ご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。



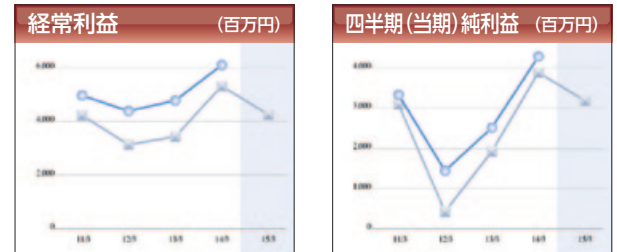
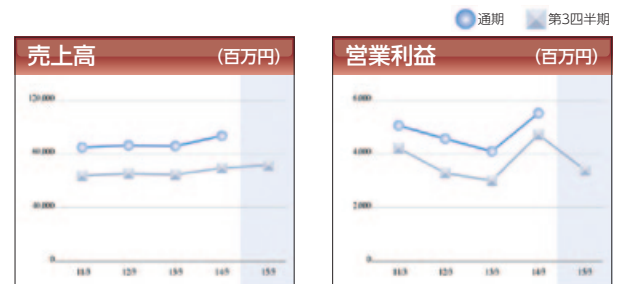
代表取締役社長  
吉井満隆

## 平成27年3月期第3四半期（連結）の概況

（詳細につきましては、当社ホームページ「株主・投資家の皆様へ」掲載の「平成27年3月期第3四半期決算短信」をご覧ください。）

### ■ 経営成績

<b>売上高</b> <b>71,425</b> 百万円 (前年同期増減率 2.8%)	<b>営業利益</b> <b>3,402</b> 百万円 (前年同期増減率 △28.0%)
<b>経常利益</b> <b>4,259</b> 百万円 (前年同期増減率 △20.0%)	<b>四半期純利益</b> <b>3,186</b> 百万円 (前年同期増減率 △17.9%)



## ■ 事業のセグメント別売上高及び営業利益の状況

当期からセグメントに属している製品区分を見直しています。前期の数字は、当期との比較を可能にするため、見直し後のセグメントに合わせて組み替えたものです。

<b>ベルト事業</b> 売上高 <b>58,552</b> 百万円 (前年同期増減率 1.5%) 営業利益 <b>3,005</b> 百万円 (前年同期増減率 △26.3%)	(前年同期増減率 △28.0%)
<b>エラストマー製品事業</b> 売上高 <b>11,750</b> 百万円 (前年同期増減率 5.3%) 営業利益 <b>164</b> 百万円 (前年同期増減率 △64.9%)	(前年同期増減率 △17.9%)
<b>その他</b> 売上高 <b>1,819</b> 百万円 (前年同期増減率 8.4%) 営業利益 <b>127</b> 百万円 (前年同期増減率 33.5%)	

## ■ 平成27年3月期（通期）の連結業績予想

(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

平成26年5月14日に公表した業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、当社ホームページ掲載の平成27年2月13日付「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

(%表示は、5月14日発表数値に対する増減率)

	通 期	
	5月14日発表数値	2月13日発表数値
売 上 高	95,000百万円 (△1.1%)	94,000百万円
営 業 利 益	5,800百万円	4,600百万円 (△20.7%)
経 常 利 益	6,400百万円	5,600百万円 (△12.5%)
当 期 純 利 益	4,300百万円	3,900百万円 (△9.3%)
1株当たり当期純利益	45円71銭	41円45銭

実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。